

2018年2月号

2月15日(木)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 257

2018年2月9日



2015年2月4日



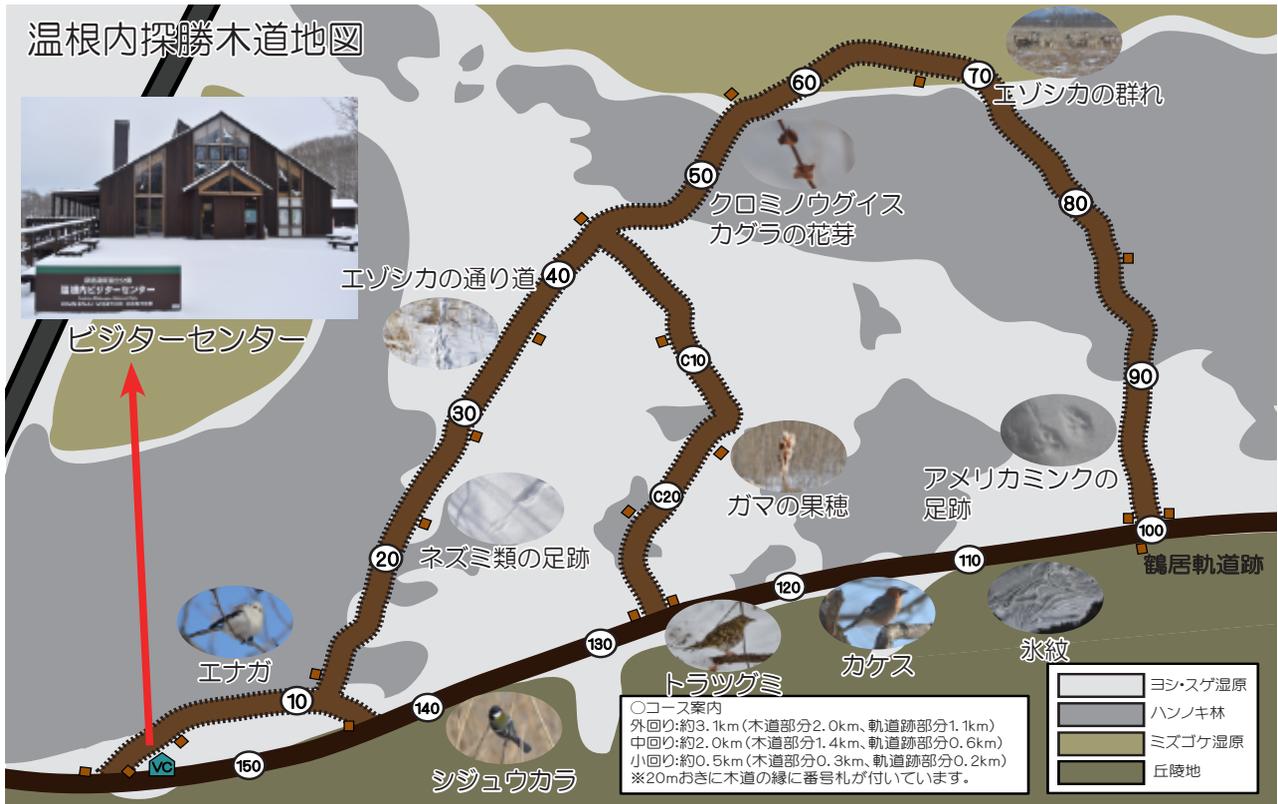
2017年2月19日



## 少雪の厳冬期…

「今年は冬の訪れが早い」と、昨年末に記事を書いたばかりですが、年明けからは拍子抜けするほど降雪が少なくなりました。例年だとミズゴケ湿原も真っ白になっているのですが、写真のとおり、本来は雪の中で越冬する植物が、今年はすっかり顔を出してしまっています。来春の花期に影響がないか、少し心配になる厳冬の温根内です。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【クミノウグイスカグラの花芽】  
スイカズラ科 黒実鶯神楽  
ミズゴケ湿原手前のハンノキ林に見られる低木です。対生した冬芽が特徴で、5月に花を咲かせ、秋に実をつけます。



【ネズミ類の足跡】  
点々と続く小さな足跡があり、両脚の間に尾を引きずった線状の跡が残ります。湿原を注視していると、動き回る実物が見られることも…？



【エゾシカの通り道】  
木道を横断するようにエゾシカの通り道が作られています。夏もこの道の植生が乏しくなるので、1年を通して同じ道を行き交していると思われます。



【エゾシカの群れ】  
シカ科 蝦夷鹿  
ミズゴケ湿原には毎日のようにエゾシカが見られ、雪原から頭を出した植物を食べています。時には50頭以上の群れも見られます。



【アメリカミンクの足跡】  
イタチ科 **特定外来生物**  
木道の脇や巣穴の近くに、足跡が多く残されています。雪に覆われても活発に活動していることがよくわかります。



【氷紋】  
水流を作る湧き水の一部は表面が冷気で冷やされ凍結します。気温と水流・凍結の速度が一定の条件を満たすと、このような複雑な模様が形作られます。

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

雪に覆われた温根内では、上空にワタリガラスが飛ぶ姿も確認されるようになりました。その特徴ある鳴声は、厳寒期が来たのを実感させます。また、鶴居軌道跡には珍客トラツグミが現れるなど、この時期にしか見られない鳥たちが観察されるようになりました。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しておりますので、お気軽に案内カウンターまでお声がけください。



【カケス】 留鳥（漂鳥）  
カラス科 懸巢  
鶴居軌道沿いの林で見られます。英名の Eurasian Jay はその鳴声に由来し、jay は「おしゃべり者」という意味もあるそうです。



【トラツグミ】 夏鳥（一部越冬）ヒタキ科 虎鶉  
長らく温根内では見かけなかったのですが、3年ぶりの嬉しい確認となりました。夏鳥ですが湧水地に餌を求めてやってきました。



【エナガ】 留鳥  
エナガ科 柄長  
亜種名の「シマエナガ」で知られており、今までにも増してこの野鳥の人気の最近高まっているようです。群れで移動しています。



【コゲラ】 留鳥  
キツツキ科 小啄木鳥  
他のカラ類などと行動を共にして、樹皮の裏を必死に探っています。「ギィ〜…」という鳴き声が聞こえたら注意して見ましょう。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（1月15日～2月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■タンチョウ■トビ■オシロワシ■オオワシ■ノスリ■ケアシノスリ■コミミズク■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■チョウゲンボウ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ワタリガラス■キクイタダキ■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■トラツグミ■ツグミ■セグロセキレイ

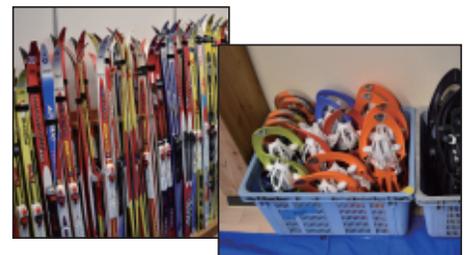
※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

## ☆☆☆☆ 無料レンタル始めました！ ☆☆☆☆

大変お待たせしました。まだ例年より積雪量が若干心もとないですが、ビジターセンターでは歩くスキーとスノーシューの無料レンタルを開始しました。歩くスキーは、いつもの木道や鶴居軌道跡を巡るコースのほか、右岸堤防を滑るコースもあります。それぞれのコースで違う見どころがありますので、ぜひお楽しみください。

※思わぬ事故にも繋がりにくいので、歩くスキー・スノーシューでは木道や指定のコースから出ないようにお願いいたします。

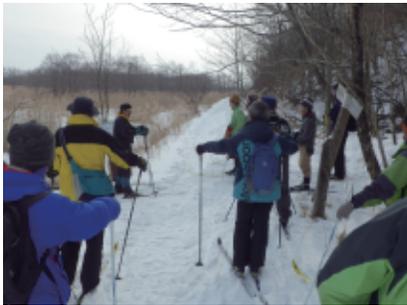


☆☆☆☆ 今年度はたくさんのお子どもたちが来館しました！ ☆☆☆☆

ビジターセンターには毎年、多くのお子どもたちが学校の授業やイベントの一環で来館されます。今年度は特に、ビジターセンターがリニューアルしたことも話題となって大変多くの申込みがあり、イベント数にして実に31回に上りました。こうしたイベントでは、主には職員と一緒に木道を散策して湿原の生き物や環境を観察します。木道を歩く時は大人の方を案内する場合と違い、わかりやすい言葉を選んだり子どもならではの反応を読み取ったりと、これがなかなか神経を使います。また、子供たちと接していると、大人とは「目の付け所が違う」ということがよくわかります。思わぬ質問が飛んで答えに窮することもしばしばです。それでも、目をキラキラさせて興味深くこちらの話を聞いてくれたり、笑顔で楽しんでいる様子を見ると、こちらもとても嬉しくなります。来年度もたくさんのお子どもたちがここを訪れて、ひとつでも心に残る思い出を作ってくれればと思います。(藤原伸也)



☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆



◎『歩くスキーで湿原ハイク』2月11日 参加者：10名  
歩くスキーで湿原内周辺の湿原を散策するイベントを2年ぶりに開催しました。まず、講師の若山氏から歩くスキーの簡単な手ほどきをしていただいた後、VC裏の林に入って行き体を慣らしました。林の中では、動物たちの痕跡が多く残されており、彼らの冬の活動に思いを馳せました。また、予め隠しておいた湿原の動物たちのぬいぐるみ探しが行われ、参加者らは慣れ始めたスキーで探し回りました。普段は入れない雪の覆ったヨシ原にもスキーで分け入り、いつもとは全く違う湿原の風景を堪能できた様子でした。

☆☆☆☆☆ イベントのご案内 (3月) ☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪湿原の裏山でスノーシューハイク

〔日時〕3月4日(日) 10:00～12:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料(スノーシューのレンタルも無料です)〔場所〕温根内ビジターセンター  
残雪の裏山をスノーシューで歩き、動物の痕跡や雪解けを待つ植物などを観察します。



○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪塘路フィールドウォッチング

〔日時〕3月3日(土) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料 〔集合場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～激写！エゾキウサギ～

釧路市民の方が温根内でエゾキウサギの足跡を追跡したら、姿を見つけてくれました。足跡だけでなく姿も確認できると、温根内にちゃんと生息していることがより実感できますね！



月刊 温根内通信 No.257

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00～16:00 (4月～10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料